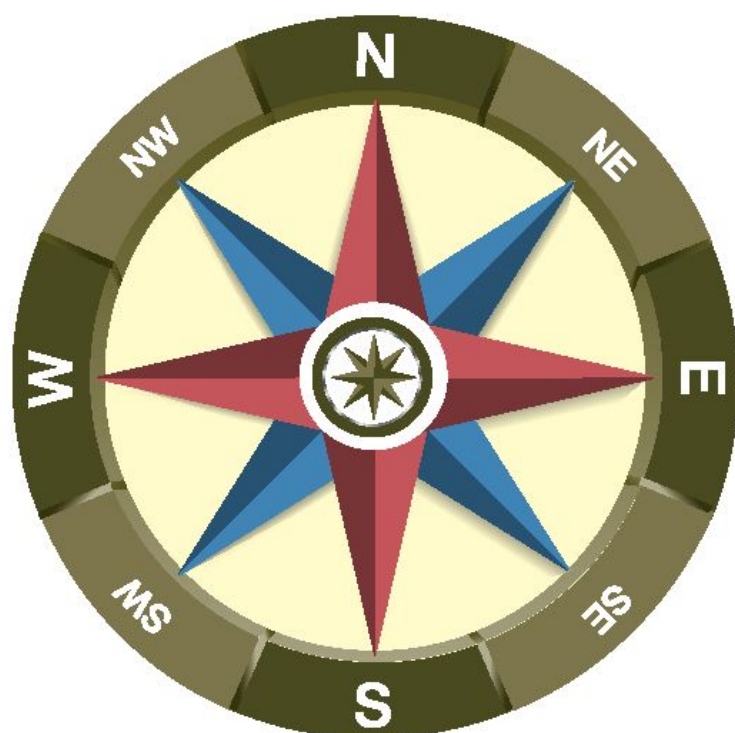


平成 18 年度

経営計画の概要

～北陸電力グループの羅針盤（クオ バディス）2010～



平成 18 年 3 月

 北陸電力株式会社

はじめに

北陸電力グループにとって最大のプロジェクトであり、将来にわたり供給力の中核をなす志賀原子力発電所2号機が平成18年3月に営業運転を開始いたしました。

こうしたなか、当社グループが厳しさを増す市場競争を勝ち抜き、持続的な成長・発展を実現するには、志賀原子力発電所の安全・安定運転を大前提に、電力の安定供給を万全に確保するとともに、低廉な料金水準と更なるクリーン電力を実現していくことが不可欠となっております。

このような認識のもと、平成17年11月、当社グループは2010年度（平成22年度）をターゲットとした中期経営方針「北陸電力グループの羅針盤（クオバディス）2010」を策定いたしました。

本方針に基づき、今回、平成18年度の供給計画ならびに経営効率化への取組みなどについてとりまとめております。

I. 供給計画の概要

- 電力需要は、今後10年間、販売電力量・最大電力ともに、年平均で、0.7%の伸びを見込んでおります。
- これまで当社は、エネルギーセキュリティ、経済性、環境特性等を勘案し、電源多様化を推進するとともに、基幹系統を強化するなど、需給の安定と効率的な設備運用に努めてまいりました。今後とも、責任ある電気事業者として、安定供給の確保と地球温暖化防止の観点から、志賀原子力発電所の安全・安定運転の徹底を図るとともに、安定供給確保のための系統対策を進めてまいります。

II. 経営効率化への取組み

「社会的責任を果たし、信頼を高める」と「競争力を培い、企業価値を高める」を経営の基本方針の柱として、たゆまぬ経営改革に取り組んでまいります。

平成18年度は、「クオ バディス2010」の実質元年であり、この実現のための取組みを軌道に乗せる重要な年であります。

このため、「スピード経営」・「正直経営」の実践と「マーケット志向」の徹底・定着のもと、お客さまをはじめ皆さまから「信頼され選択される企業」を目指してまいります。

「北陸電力グループの羅針盤（クオ バディス）2010」

■ 目指す企業像 ■

競争力ある電気事業をコアに総合エネルギー事業を展開し、北陸地域との共存共栄のもと、お客さまをはじめ皆さまから「信頼され選択される企業」を目指します。

■ 経営の方向性 ■

北陸電力グループの叡智と総力を結集し、原子力の安全・安定運転を大前提に「低廉・良質・安定・クリーン」な北陸電力ブランドの徹底強化と信頼感向上を図り、グループの持続的な成長・発展を目指します。

■ 経営の基本方針・重点方策 ■

<p style="text-align: center;">「社会的責任を果たし、信頼を高める」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「安全・安定供給」の万全なる確保 ・「環境先進企業」への積極的な取組み ・「活力と信頼感ある企業」の実現 	<p style="text-align: center;">「競争力を培い、企業価値を高める」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「販売力ナンバーワン」への挑戦 ・「コスト競争力のトップランナー」の追求 ・「グループ連携の強化」による総合力の向上
--	---

■ 経営目標 ■

<p style="text-align: center;">利益目標 (2006[平成18]年度～2010[平成22]年度平均)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">連結経常利益</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">400億円以上</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">連結ROA(税引後営業利益/総資産)</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">3%以上</td> </tr> </table>	連結経常利益	400億円以上	連結ROA(税引後営業利益/総資産)	3%以上	<p style="text-align: center;">業務効率化目標 (2010[平成22]年度までに)</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">業務効率向上(2004[平成16]年度対比) 20%以上</p>
連結経常利益	400億円以上				
連結ROA(税引後営業利益/総資産)	3%以上				
<p style="text-align: center;">財務改善目標 (2010[平成22]年度までに)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">連結有利子負債残高</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">6,500億円以下</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">連結株主資本比率</td> <td style="text-align: right; padding: 2px;">30%以上</td> </tr> </table>	連結有利子負債残高	6,500億円以下	連結株主資本比率	30%以上	<p style="text-align: center;">販売拡大目標 (2005[平成17]年度～2010[平成22]年度累計)</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">開発販売電力量 20億kWh以上</p>
連結有利子負債残高	6,500億円以下				
連結株主資本比率	30%以上				
<p style="text-align: center;">環境目標 (2010[平成22]年度)</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">CO2排出原単位(1990[平成2]年度対比) 20%削減</p>					

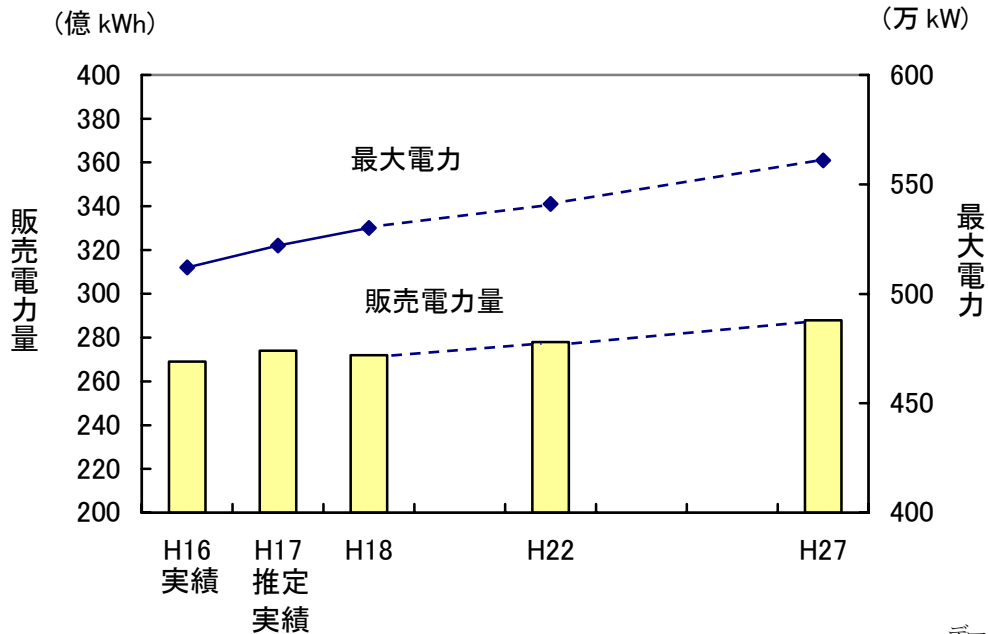
(クオ バディス (Quo vadis) :「どこへいくのか」というラテン語。「道標」、「羅針盤」とも意識される)

I. 供給計画の概要

1. 需要見通し

- 今後10年間、販売電力量・最大電力とも年平均で0.7%の伸びを見込んでおります。

販売電力量と最大電力の見通し



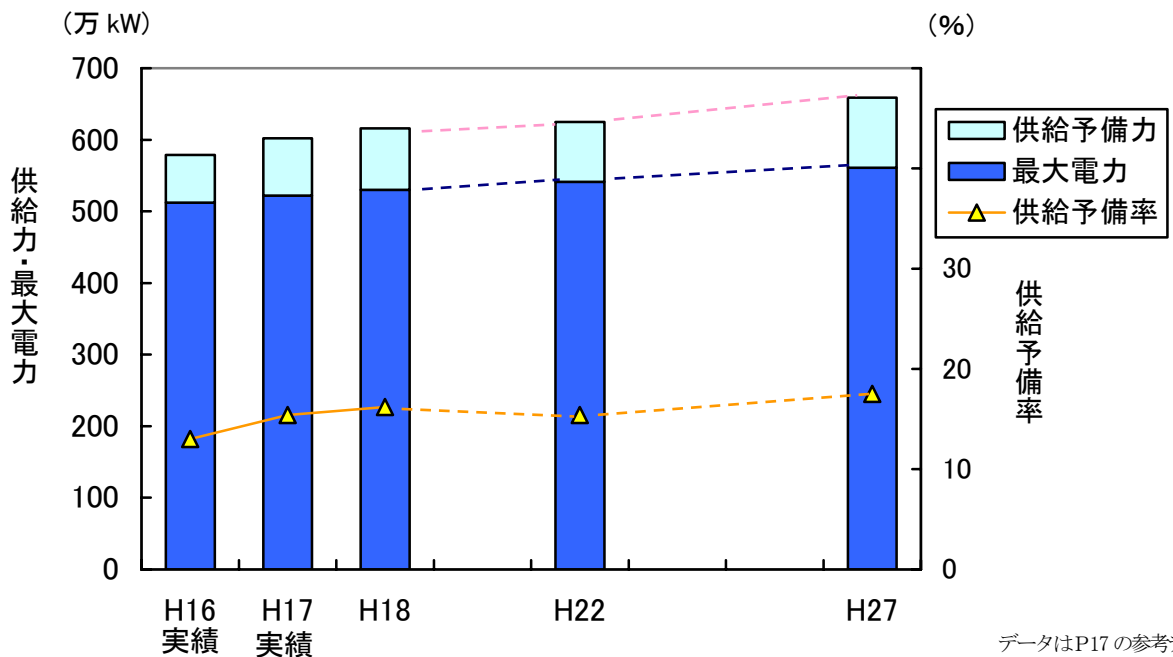
データはP17の参考データをご参照ください

2. 需給計画

(1) 最大電力バランス

- 志賀原子力発電所の安全・安定運転や広域融通の実施など、需給の安定と効率的な設備運用に努め、今後とも安定して電気をお届けいたします。

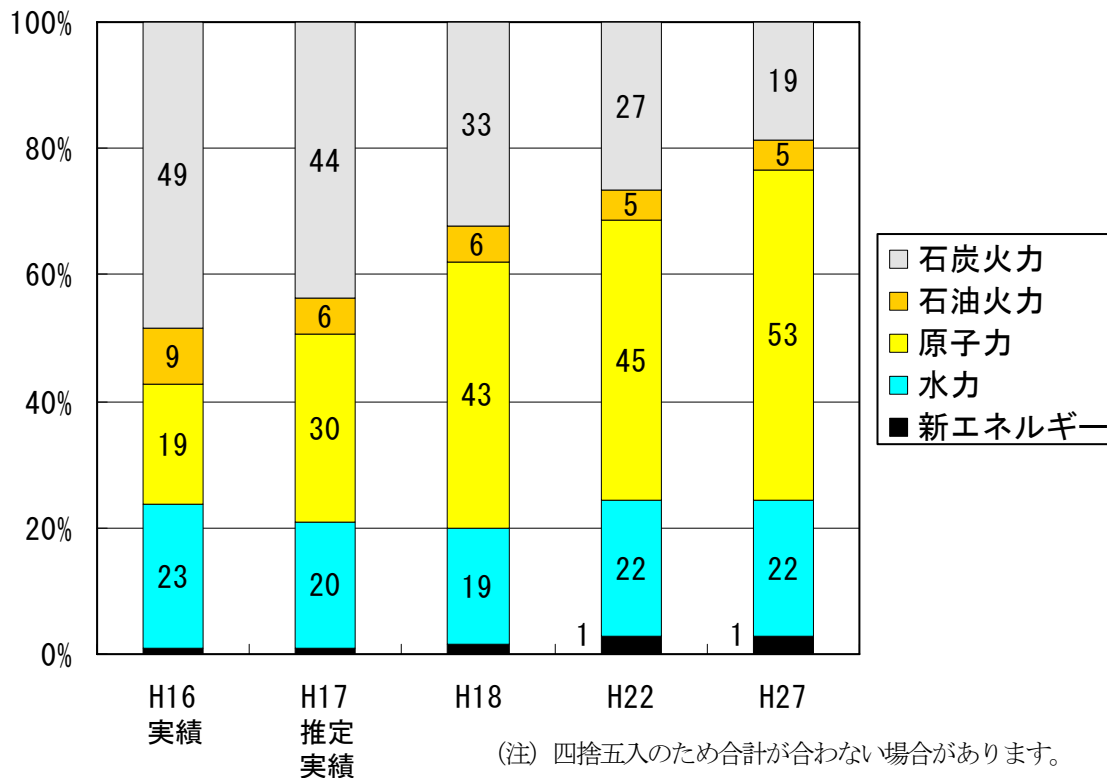
供給力と供給予備率の見通し



データはP17の参考データをご参照ください

(2) 発電電力量構成比

- ・ 志賀原子力発電所2号機の営業運転開始以降、原子力を中心とした発電電力量構成となり、化石燃料価格の変動影響を受けにくくなります。
- ・ 風力や木質バイオマスなど、新エネルギーの導入を促進いたします。



3. 系統整備計画

- ・ 基幹系統の強化を図るため、以下の工事を実施いたします。

件名	工事概要			使用開始年月
なかのとへんでんしょ 中能登変電所 変圧器増設	275/154 kV	400MVA	1 台	平成 20 年 6 月



中能登変電所

II. 経営効率化への取組み

■社会的責任を果たし、信頼を高めます。

「安全・安定供給」の万全なる確保

万全な品質管理のもと、志賀原子力発電所の安全・安定運転の徹底により、信頼と安心感を高めるとともに、グループ体となって設備保全や技術力の維持・向上を図り、電力の「安全・安定供給」を目指します。

**定期検査の確実な実施、品質保証活動の推進などにより、
志賀原子力発電所の安全・安定運転の徹底に努めます。**

●志賀原子力発電所の安全・安定運転の徹底

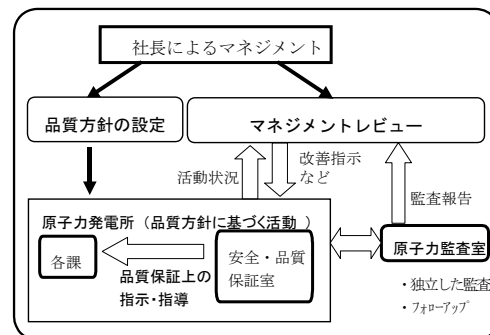


*志賀原子力発電所2号機は、平成18年3月に、営業運転を開始いたしました。

●品質保証活動の継続的推進

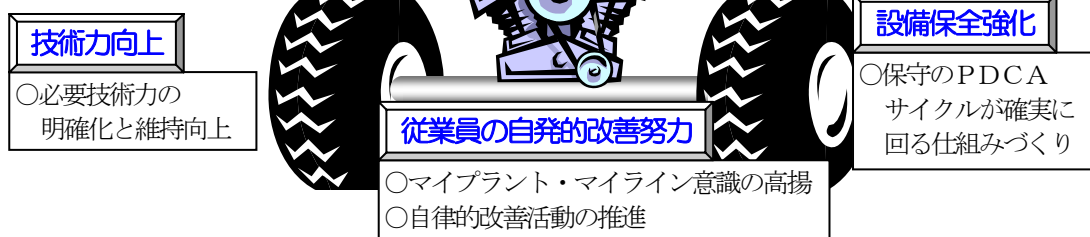
*「品質マネジメントシステム」の継続的改善を進めます。

●2010年度までのウラン燃料のリサイクル実施に向けて、地元の皆さまにご理解をいただくよう努めてまいります。



高品質な電力供給のための技術力の向上・設備保全の強化に努めます。

●技術力向上と設備保全強化を両輪として、自発的な改善努力により、グループ体となって高品質な電力供給に努めてまいります。



電力の安定供給確保に向けた対応を強化します。

●能登幹線の復旧工事の確実な実施

*平成 18 年夏ピーク前を目処に、損傷・倒壊鉄塔を復旧するとともに、その他の送電線鉄塔および周辺地盤の総点検も合わせて実施しております。

●雪害対策など系統信頼度対策の推進

*送電線への異常着雪による鉄塔損傷と電線断線および、強風下での電線への着雪により発生するギャロッピング^{※1} 事故を防ぐため、ねじれ防止ダンパや相間スペーサ、ルーズスペーサの設置拡大など、雪害対策を強化します。

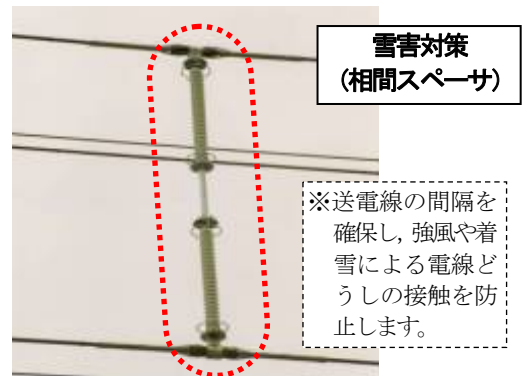
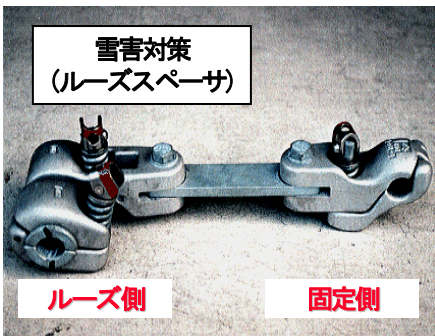
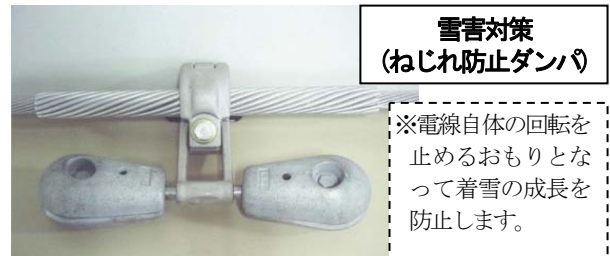
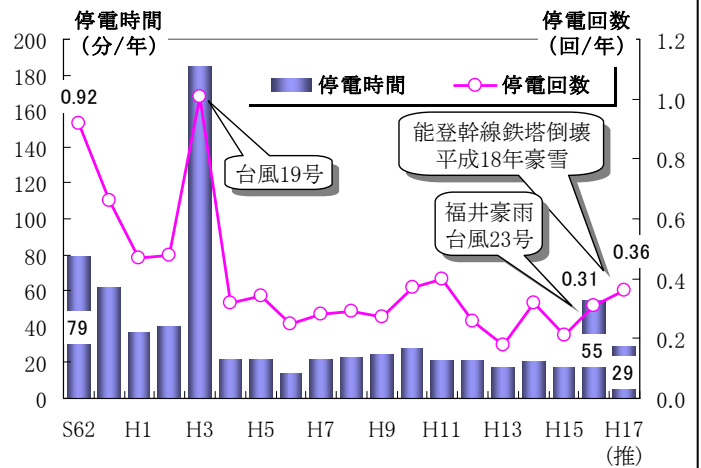
※1 ギャロッピング

翼状に着雪した電線が、強風により上下左右に動揺する現象

*雷害に対しては、送電用避雷装置の設置を継続的に進め、停電防止と瞬時電圧低下の低減に努めてまいります。

*万一の基幹系統事故に備えたバックアップ対策を強化します。

◆お客さま一戸あたりの年間停電時間数・停電回数の推移



●非常時対応力の維持・向上, 自然災害に対する予防保全強化

*防災・復旧訓練や送電線下の樹木伐採, 配電線への樹木倒壊対策などを着実に実施し、事故の未然防止に努めてまいります。



■社会的責任を果たし、信頼を高めます。

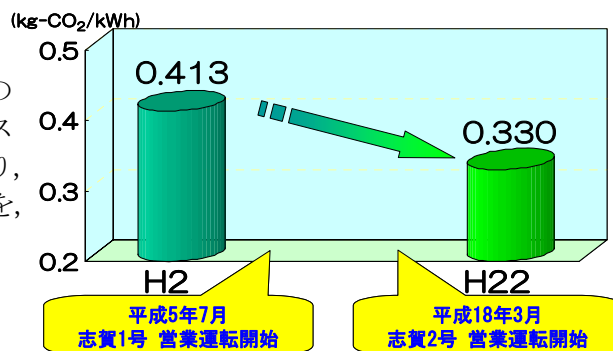
「環境先進企業」への積極的な取組み

原子力の活用を基本に、風力やバイオマスなどの新エネルギーを積極的に推進し、クリーン度の高い電気をお届けするとともに、環境保全に向けた取組みを強化し、「環境先進企業」の実現を目指します。

地球温暖化防止に最も効果的な原子力発電所の安全・安定運転による利用率向上に加え、風力・バイオマスなどの新エネルギー導入に取り組めます。

●CO₂排出量の削減目標

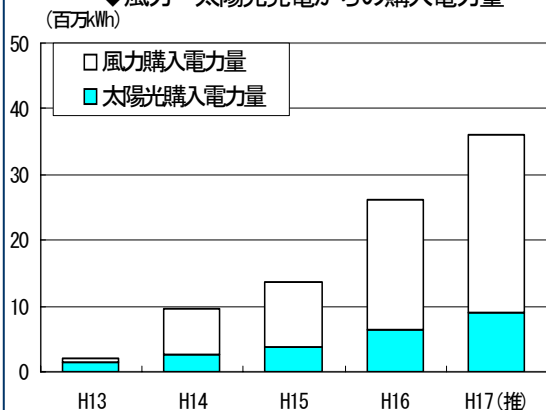
*原子力の活用を基本に、風力やバイオマスなどの新エネルギーの推進や、地球規模で温室効果ガスの削減に資する京都メカニズムの活用などにより、平成22年度に販売電力量あたりのCO₂排出量を、平成2年度対比で20%削減いたします。



●風力・太陽光発電

*風力・太陽光発電からの購入を、着実に推進しております。

◆風力・太陽光発電からの購入電力量



◆風力発電所(イメージ)



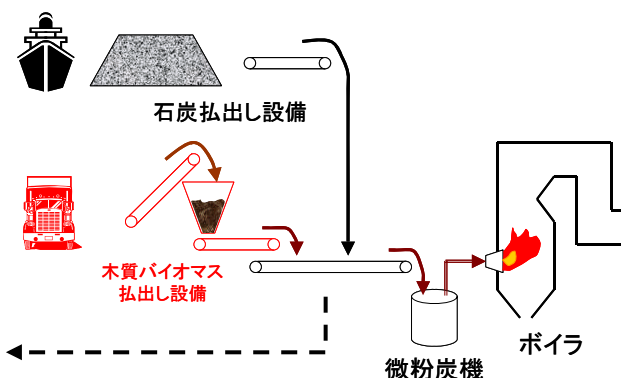
- 風力や太陽光発電への助成を行い、新エネルギーの普及を支援いたします。
- 加入申込み
 - ・募集金額：500円/口・月
 - ・電気料金と同時に寄付金も振替させていただきます
 - ・お申込み先：最寄りの北陸電力窓口

●福浦風力発電所(仮称) 建設計画

*石川県羽咋郡志賀町福浦港地区にて、日本海発電株式会社(当社グループ)が、風力発電の建設計画を進めております。

●木質バイオマス混焼発電

*石炭火力発電所での混焼発電の実運用化に向け、検討を進めております。



グループ大での省エネルギーや循環型社会形成に向けた

取組みにより、環境保全に努めております。

●エコキュートの推奨など

*エコキュートをはじめとする、高効率ヒートポンプの推奨や、電気ご使用量のお知らせ(検針票)への前年同月の電気ご使用量記載など、省エネ情報提供に努めております。

エコ
キュート



*エコキュートは、空気中の熱を上手に汲み上げてお湯をつくる高効率ヒートポンプを採用しており、使用する電気エネルギーの3倍以上のエネルギーを生み出すことができる給湯器です。

●省エネルギーへの取組み強化

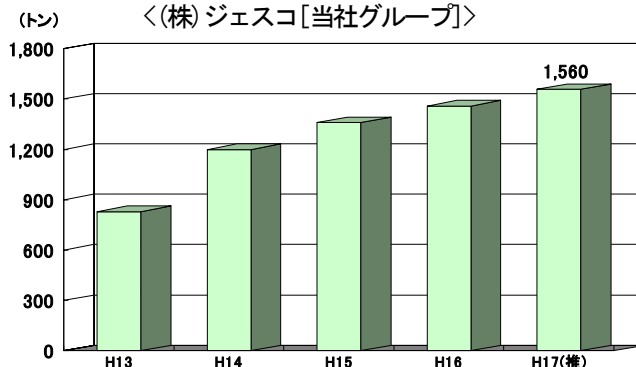
*電気自動車の導入検討や、超低燃費車の導入を推進するとともに、「チームマイナス6%」運動に参加し、クールビズやウォームビズを実践するなど、省エネルギー活動を推進しております。

●循環型社会形成に向けた取組み拡大

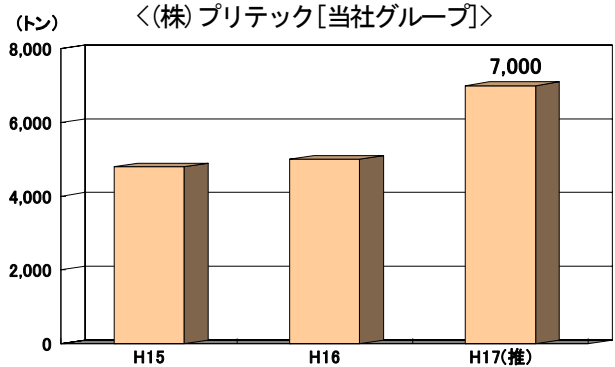
*石炭灰をはじめとする廃棄物の3Rを推進し、平成17年度でのリサイクル率はほぼ100%となる見込みです。 (*3R: 廃棄物の抑制 (Reduce) 再使用 (Reuse) 原材料としての再利用 (Recycle)

*また、グループ全体でオフィスごみゼロ活動やグリーン調達、リサイクル活動を展開するとともに、プラスチックリサイクル事業や機密保存文書リサイクル事業など、地域の皆さまと一体となり取り組んでまいります。

◆機密・保存文書リサイクル処理量の推移
〈(株)ジェスコ[当社グループ]〉



◆プラスチックリサイクル取扱量の推移
〈(株)プリテック[当社グループ]〉



●PCB (ポリ塩化ビフェニール) の管理・処理やアスベスト対策の着実な推進

*PCBの管理を徹底し、絶縁油リサイクルセンターでの処理を推進いたします。

*吹付け石綿の撤去など、アスベスト対策を推進してまいります。

◆絶縁油リサイクルセンター



●環境コミュニケーションの推進

*エネルギーや地球環境問題をテーマとした「出前講座」の開催など、環境情報の提供に取り組んでおります。

◆出前講座



■社会的責任を果たし、信頼を高めます。

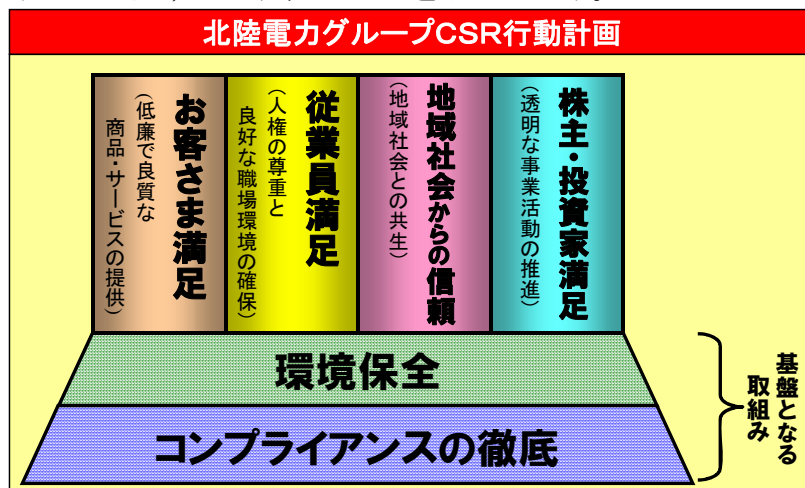
「活力と信頼感ある企業」の実現

競争を勝ち抜く人材の育成・強化など、「企業活力の向上」に資する取組みを進めるとともに、地域との共生に向けた取組みやグループ大でのCSRの実践により、「信頼される企業活動」を推進いたします。


グループ大でのCSRの実践などにより、
「こたえていく。かなえていく。北陸電力」のブランディング・メッセージ
のもと、お客さまをはじめ皆さまから「信頼される企業」を目指します。

●コンプライアンスの定着

- *グループ大でCSRを実践するため、「グループCSR推進会」を設置いたします。
- *「行動規範」を全従業員一人ひとりが遵守するとともに、各事業所およびグループ会社において、「グループCSR行動計画」説明会を開催し、CSRの周知・浸透活動を強化いたします。
- *「ホイッスル北電」による通報受付に加え、日常業務活動や設備保安業務に対する内部チェックを引き続き実施するとともに、公正競争ルールを遵守いたします。



ホイッスル北電（企業倫理情報窓口）
 役員及び従業員の法令・ルール
 及び企業倫理に反する行為につ
 いて、社内外から通報・相談を
 受け付ける窓口



◆コンプライアンス研修会



●グループ大での情報セキュリティの万全なる確保

- *パソコン情報漏洩防止対策など、グループ大での情報セキュリティ対策を実施いたします。

●株主価値向上に向けた取組み推進

- *IR活動の推進などにより、株主価値向上に努めてまいります。

●事業活動の透明性の確保

- *お客さまのご意見、ご要望にお応えする「ブルーエコシステム」などの仕組みを定着いたします。

◆行動規範



北陸地域との共生に向けた取組みを推進いたします。

●地域共生活動の推進

*「こども 110 番の車」運動や科学教室の開催、にぎわい創出への参画などにより、社会貢献活動に取り組んでおります。

◆「こども 110 番の車」出発式



◆エネルギー科学館「ワンダー・ラボ」での科学実験



●北陸地域の活性化事業への支援・協力

*「北陸はひとつ」という理念のもと、地域経済の活性化に向けた事業活動への支援・協力を推進いたします。



「こども 110 番の車」の役割

こどもの一時的保護

警察への通報(110番)

◆富山駅北地区のにぎわい創出のためのライトアップ



◆北陸経済連合会「北陸STCサロン」



企業活力の向上に向けた取組みを強化いたします。

●競争を勝ち抜く人材の育成・強化に努めます。

◆北電ビジネスカレッジ



●社内広報の充実や、職場活性化への取組みなど、活力ある企業風土・職場づくりを推進いたします。

◆社内報「MONTHLY 北電」



●高齢者がやりがいを持って能力を発揮できる制度の構築に取り組めます。

●心身両面での健康づくりと作業安全・交通安全を徹底いたします。

■競争力を培い、企業価値を高めます。

「販売力ナンバー・ワン」への挑戦

低廉な料金水準のもと、市場競争を勝ち抜く販売活動を強力に推進するとともに、個別提案型技術営業の充実・強化を図り、「販売力ナンバー・ワン」企業を目指します。

低廉な料金水準の実現に向けて努めてまいります。

●電気料金の値下げ

*平成17年4月1日からの電気料金の値下げに引き続き、平成18年7月を目処に、電気料金の値下げに向け検討を開始しております。

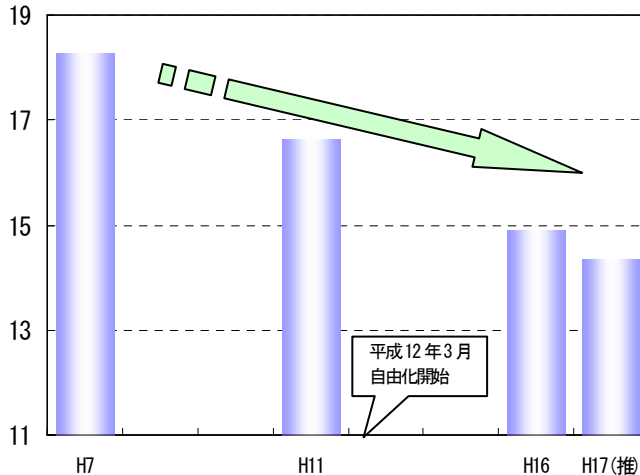
●近年の当社電気料金値下げ状況

*ここ10年間で計5回・約25%、電力小売部分自由化開始(H12/3)以降で計3回・約15%の値下げを行っております。

平成 8年 1月	▲8.74%
平成10年 2月	▲4.76%
平成12年10月	▲5.57%
平成14年10月	▲5.32%
平成17年 4月	▲4.05%

(注) 平成12年以降の値下げ率は規制部門平均の値下げ率。

◆電気料金(1kWhあたり)の推移



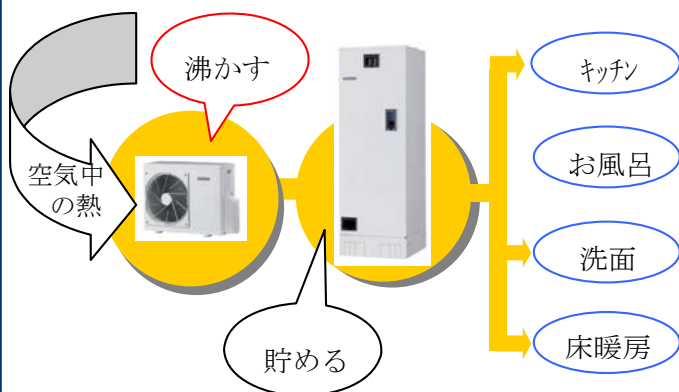
(注) 上記は、各年度の電気料金収入(電灯料・電力料)を販売電力量で除した値をグラフ化したものです。

エコキュートを中心としたオール電化住宅をおすすめしております。

●北陸電力リビングサービスを中心に、環境にも家計にもやさしいエコキュートをはじめとしたオール電化住宅をおすすめしております。

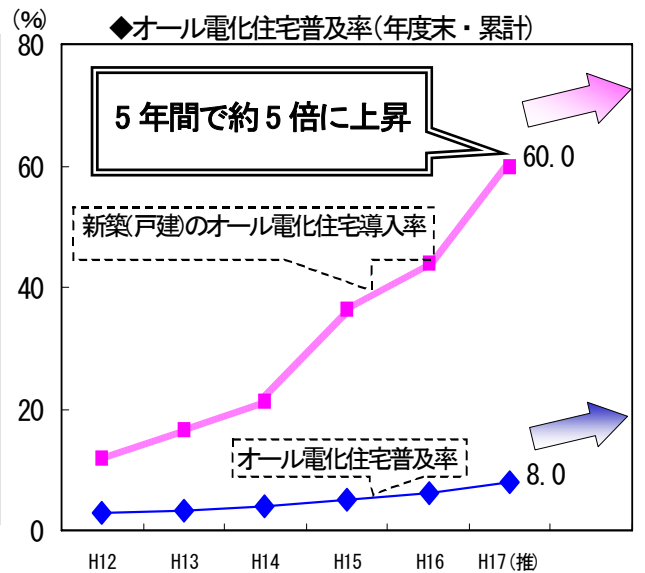
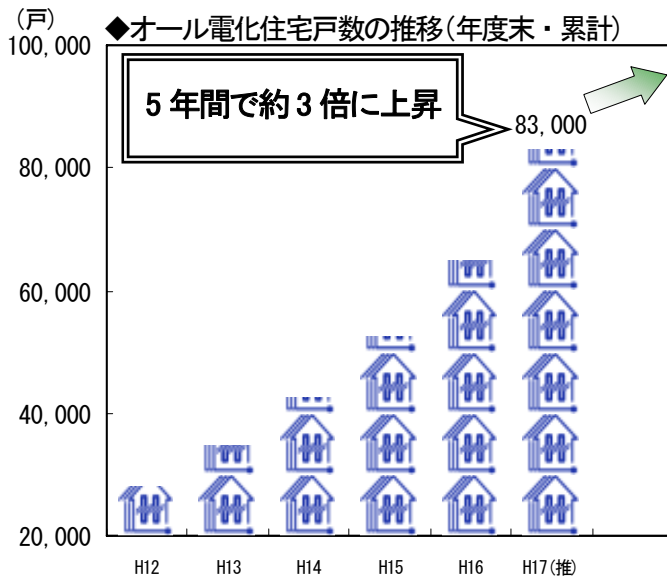
*お客さまからのご意見・ご要望を反映した、「エルフナイト10」や「エルフナイト10プラス」など、オール電化プランをご用意いたしております。

◆空気の熱でお湯を沸かす!「エコキュート」



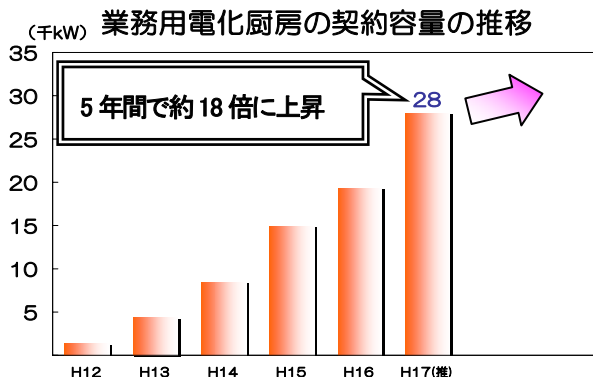
◆オール電化住宅キャンペーン (株)北陸電力リビングサービス





業務用・産業用における空調・厨房・給湯の電化を推進してまいります。

●平成17年4月の電気料金値下げより、業務用オール電化割引プランをご用意しております。



グループ総力をあげて、個別提案型技術営業を充実・強化してまいります。

●熱供給設備や瞬時電圧低下装置の受託サービスの実施

*省エネルギーや環境、瞬時電圧低下被害防止など、様々な面からお客さまに最適なエネルギーのご利用を提案しております。

◆瞬時電圧低下対策装置



*北陸電気工事(株)などグループが連携して工事を実施しております。

◆水蓄熱式空調システム



＜ハイテク産業への品質確保＞
瞬時電圧低下対策装置などを
お客さま工場に設置

■競争力を培い、企業価値を高めます。

「コスト競争力のトップランナー」の追求

電力の安全・安定供給を大前提に、自律的・継続的に改革・改善に取り組むとともに、管理間接業務の効率化・スピード化を図り、「コスト競争力のトップランナー」を目指します。

徹底した業務運営の効率化に努めます。

●業務効率化目標

*平成22年度までにH16年度対比で20%以上の業務効率向上を目指します。

●業務改革に資する体制整備

*情報通信ネットワーク利用の基盤整備など業務改革に資する体制整備に取り組みます。

●仕事のやり方改革による効率化・スピード化

*効果的な会議運営・資料作成方法の定着など、業務運営の効率化・スピード化を推進し、引き続き人件費を抑制してまいります。

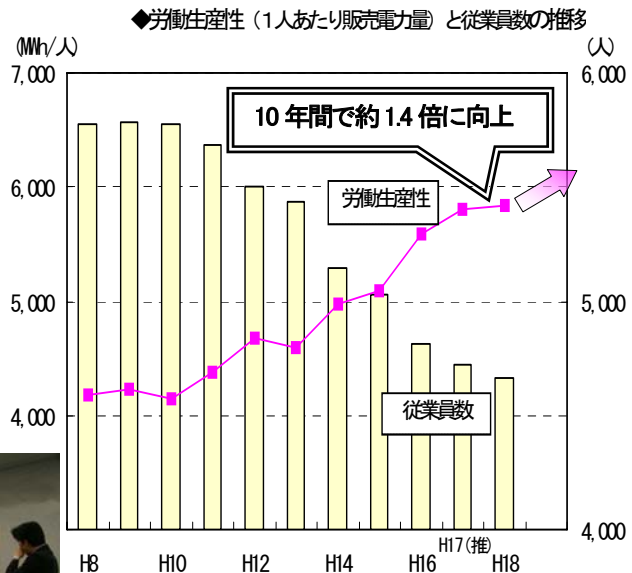
◆プロジェクターを活用した協働作業



◆原子力発電所の出入管理



これまでの出入管理ゲートの状況（行列状態）



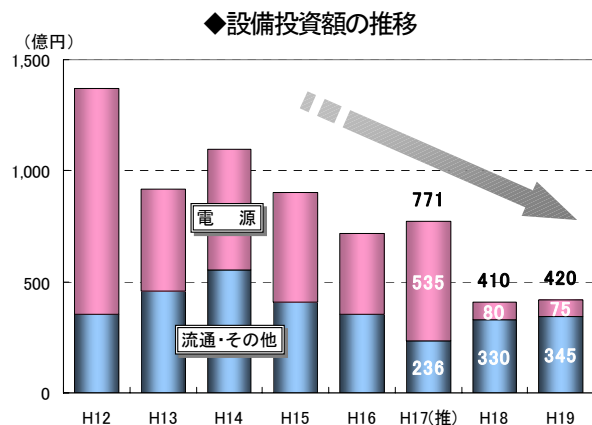
新出入管理システムの導入により、出入時間を大幅に短縮（待ち時間「ゼロ」を達成）

安全・安定供給を前提としたコストダウンを推進いたします。

●設備投資額の低減

*雪害・雷害対策や基幹系統事故時のバックアップ対策など、流通設備投資を重点的に実施し、供給信頼度向上に努めます。

*点検・診断に基づいた経年設備の効率的改修、設備仕様見直し、新技術・新工法の導入や調達価格の低減などにより、電力品質とコスト低減の両立を図ります。

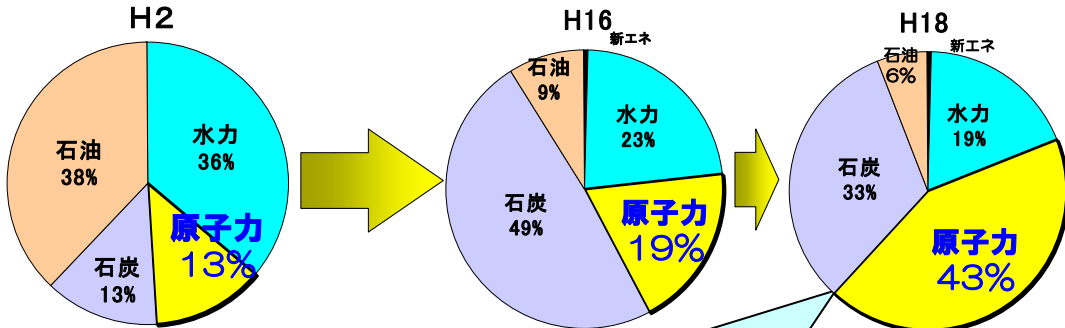


●燃料費の低減

*志賀原子力発電所2号機の営業運転開始により原子力発電比率が大幅に増加し、火力（石油・石炭）発電比率が縮小することから、化石燃料高騰の影響を受けにくい体質となります。

発電電力量
構成比率

化石燃料の高騰に強い
発電電力量構成へ変化



平成18年3月志賀2号機営業運転開始

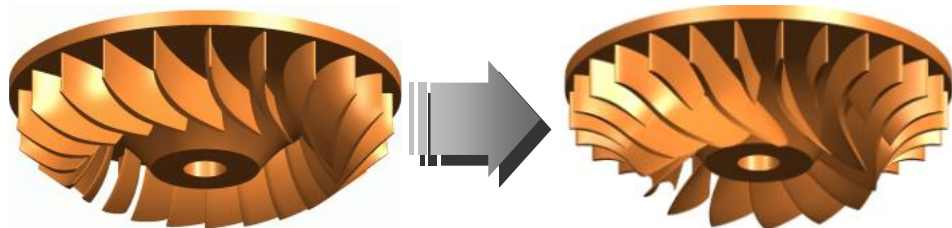
●諸経費の低減

*徹底した業務効率化のもと、引き続き諸経費の低減に努めます。

【設備投資関連費低減に向けた具体的事例】

《新中地山水力発電所 水車ランナ取替》

*新形状のランナは、従来品に比べ、効率がよく耐土砂磨耗性に優れています。



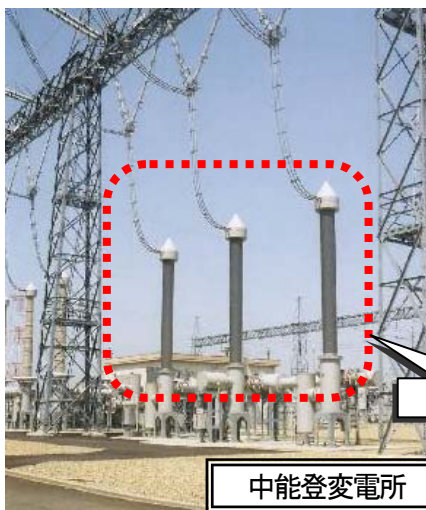
※ランナ：水車の羽根の部分

従来ランナ形状
(羽根枚数：21枚)

新ランナ形状
(羽根枚数：長翼13枚、短翼13枚)

《50万V変電所へのポリマーがい管の採用》

*ポリマーがい管は、シリコンゴム製の外被を使用しており、従来の磁器がい管に比べ、軽量で耐震性に優れています。



※がい管
電線と機器をつなぎ、絶縁・支持するもの。

ポリマーがい管

中能登変電所

《スパイラル型車避表示帯の開発》

*使用材料の削減などにより、コストダウン・作業効率向上を図りました。

*あらゆる方向からの確認が可能となりました。



開発品

電柱

従来品

※車避表示帯
反射材を利用して、夜間などに車両等が電柱に接触するのを防ぎます。

■競争力を培い、企業価値を高めます。

「グループ連携の強化」による総合力の向上

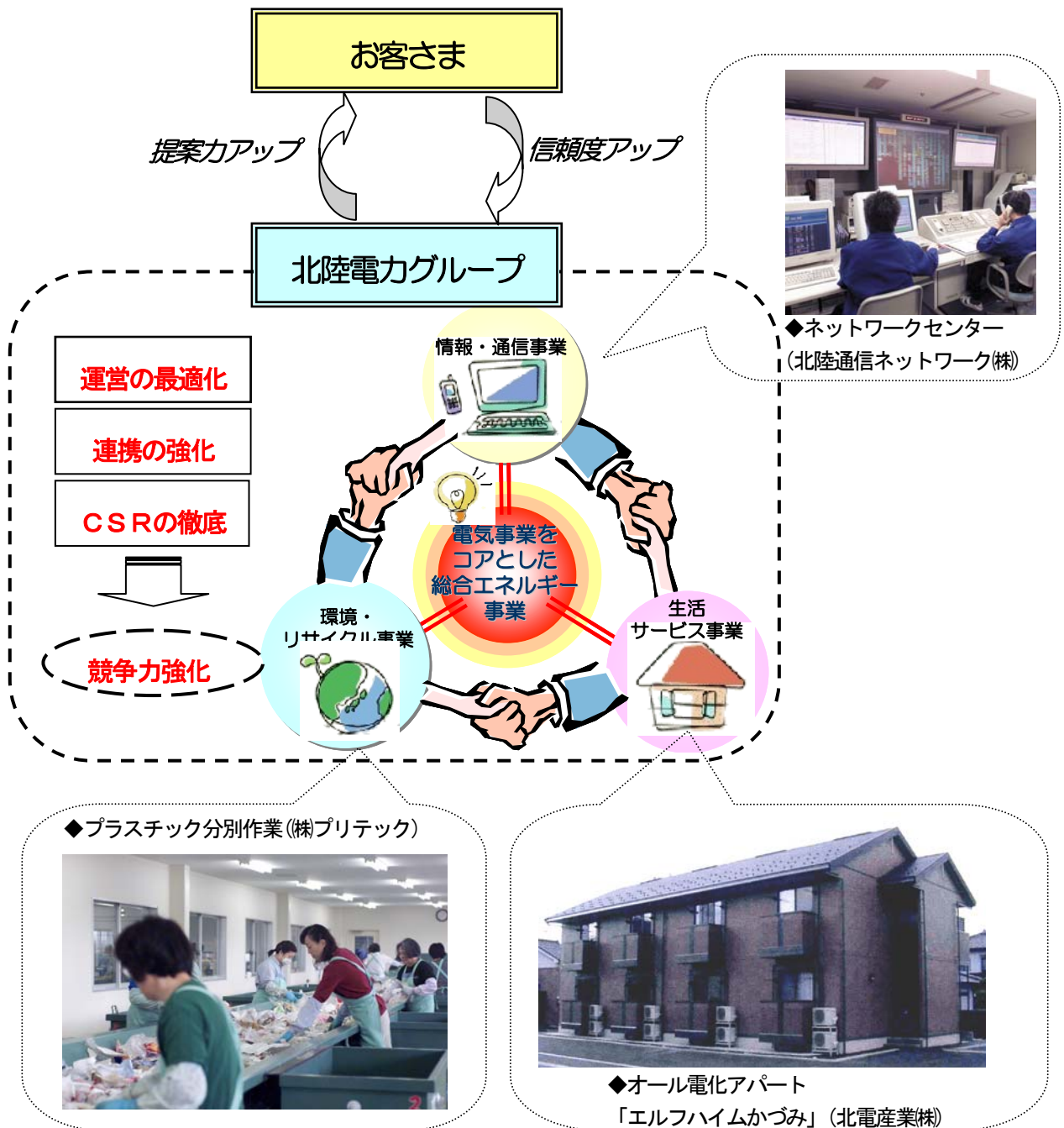
本格的な連結経営時代に着実に対応するため、グループ総合力の向上を目指し、経営資源の最適活用を図るとともに、電気事業に関連する業務のグループ一体運用を推進するなど、「グループ連携の強化」を図ります。

グループ運営の最適化を図ります。

- 管理間接業務の更なる集中化の検討などグループ一体運用による効率化を図るとともに、営業力強化に向けた体制構築などグループ運営の最適化を図ります。

グループ競争力の強化を図ります。

- グループ連携による商品推奨活動やグループ会社間を結ぶ情報通信システムの整備など、グループ全体での競争力の強化を図ります。



●グループ各社の最近の主な事業展開

関連分野	事業	概要	実施主体
 <p>総合 エネルギー</p>	お客さま電気設備 保守・保安管理 サービス	お客さまの高圧受電設備やコージェネなど、 電気設備の設置工事，保守・点検サービス	北電テクノサービス(株) 北陸発電工事(株) 北陸電気工事(株)
		高圧受電設備の保安管理，24時間監視・制御 を含めたワンストップサービス	北電テクノサービス(株)
	熱供給設備及び瞬 時電圧低下対策装 置の受託サービス	空調に必要な冷熱の提供や生産設備への瞬時電 圧低下被害を防止するサービス	北陸電力(株)
	住宅電化の提案・ アフターサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの快適電化プラン，お得な電気料金メ ニューのご提案 ・エコキュート・電気温水器，クッキングヒー ターなど，200ボルト電化機器の365日24時 間メンテナンスサービス 	(株)北陸電カリビングサービス
	熱供給	未利用エネルギーである河川水を利用した 熱の供給	北電産業(株)
	新エネ導入促進支援	自治体の新エネルギービジョン策定のコンサル	北電技術コンサルタント(株)
	風力発電設備の工事	風力発電設備の据付・調整	北陸電気工事(株)
	LNG販売	北陸地域の都市ガス事業者へのLNG卸販売	北陸エルネス(株)
 <p>情報通信</p>	ERPシステム 導入運用サービス	経営改革・業務改革を企業資源計画の面から支 援するサービス	北電情報システムサービス(株)
	IPソリューション提 供サービス	IP技術により企業内・地域内等のコミュニケ ーション活性化を支援するサービス	
	データセンター	低料金でセキュリティ万全なハウジングサービ ス，データバックアップサービス	
	広域イーサネット サービス	企業など複数拠点間の大容量光ネットワークを 安価に提供するサービス	
 <p>環境 リサイクル</p>	プラスチック リサイクル	自治体が回収したプラスチック製容器包装材を 再生プラスチック・再生油にリサイクルし，地 域に販売	(株)プリテック
	機密・保存文書 リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ・移動処理車による現地処理サービス ・選別処理施設による分別処理サービス 	(株)ジェスコ
	変圧器リサイクル	PCB無害化前処理装置の納入・保守技術サー ビス	北陸電機製造(株)
	環境分析・測定	土壌分析，作業環境測定，アスベスト調査など	日本海環境サービス(株)
	エコ商品の販売	流木を原料とした床下調湿炭 など	
 <p>生活 サービス</p>	不動産事業	一般向けオール電化アパートの建設・賃貸， 宅地分譲	北電産業(株)
	人材派遣	オフィス，オペレーション，専門技術者等業務 全般にわたる人材の派遣	

<参考データ>

1. 経営指標（連結）の推移

（単位：億円，％）

	H12	H13	H14	H15	H16
経常利益	349 (340)	331 (330)	330 (310)	339 (303)	391 (373)
ROA	3.2 (3.2)	3.3 (3.3)	3.2 (3.3)	2.3 (2.3)	2.8 (2.8)
株主資本比率	20.6 (20.5)	20.8 (21.0)	21.3 (21.3)	21.9 (22.0)	22.7 (22.8)
有利子負債残高	11,097 (10,816)	10,953 (10,518)	10,735 (10,348)	10,558 (10,202)	10,278 (10,012)

（注）（ ）は当社単独の値。

2. H18年度供給計画

（1）需要見通し

	H16 実績	H17 推定 実績	H18	H22	H27	年平均 増加率 H16～H27
販売電力量 (億 kWh)	269	274	272	278	288	0.6 % (0.7 %)
最大電力 (万 kW)	512	522	530	541	561	0.8 % (0.7 %)
年負荷率 (%)	63.1 (61.8)	63.1 (62.1)	61.8	61.8	61.8	—

（注）（ ）内は気温うるう補正後の値。

（2）需給計画

a. 最大電力バランス

	H16 実績	H17 実績	H18	H22	H27
最大電力（送電端） (万 kW)	512	522	530	541	561
供給力（送電端） (万 kW)	579	602	616	625	659
供給予備力 (万 kW)	67	80	86	84	98
供給予備率 (%)	13.0	15.4	16.2	15.4	17.5

b. 発電電力量構成比

(単位：%)

	H16 実績	H17 推定実績	H18	H22	H27
石炭火力	49	44	33	27	19
石油火力	9	6	6	5	5
原子力	19	30	43	45	53
水力	23	20	19	22	22
新エネルギー	0	0	0	1	1

(注) 四捨五入のため合計が合わない場合がある。

(参考) 設備投資額

(単位：億円)

	H18	H19
電源	80	75
流通・その他	330	345
計	410	420

(注) 附帯事業を除く。



当社は、情報窓口やインターネットを通じて積極的な情報発信に努めております。

今後とも、お客さまとの対話活動などにより広くご意見をいただき、迅速に当社の経営に反映してまいります。

お気軽に下記フリーダイヤル、インターネットをご利用下さい。

フリーダイヤル

ホームページ

eメール

イロナゴヨウヲ

0120-167540

<http://www.rikuden.co.jp/>

pub-mast@rikuden.co.jp